

有馬道子教授 略歴及び著作目録

出身

1941年 大阪府生まれ

学歴

1963年3月 大阪市立大学文学部卒業

1965年3月 大阪市立大学文学研究科修士課程修了

学位

1965年3月 修士（文学）

職歴

1965年4月 武庫川女子大学・短期大学英文学科専任講師（英語・英語学）（1969年3月まで）

1969年4月 大阪工業大学非常勤講師（英語）（1970年3月まで）

1969年4月 立命館大学文学部・帝塚山学院短期大学英文学科 非常勤講師（英語）（1974年3月まで）

1970年4月 帝塚山学院大学非常勤講師（英語）（1974年3月まで）

1973年4月 神戸女学院大学非常勤講師（英語）（1974年3月まで）

1974年4月（神戸）親和女子大学英文学科専任講師（英語学）

1975年4月（神戸）親和女子大学英文学科助教授（英語学）

1984年4月（神戸）親和女子大学英文学科教授（英語学）（1990年3月まで）

1990年4月（京都）光華女子大学英米文学科教授（英語学）（2001年3月まで）

1990年10月 京都大学教養部非常勤講師（英語）（1992年3月まで）

1993年4月 京都女子大学大学院文学研究科修士課程英文学専攻非常勤講師（英語学）（2001年3月まで）

1997年4月 University of Cambridge, Faculty of English に光華女子大学より1年間の在外研究

1997年4月 Visiting ScholarとしてSt Edmund Collegeに所属（1997年6月まで）

1997年7月 Visiting FellowとしてClare Hallに所属（1998年3月まで）

1998年4月 光華女子大学大学院文学研究科修士課程英語英文学専攻教授（英語学）（2001年3月まで専任。2001年4月から平成2002年3月まで非常勤）（前年度の審査において修士課程教授として「M」Ⓢと判定）

2001年4月 京都女子大学教授・京都女子大学大学院教授（前年度の審査において博士

後期課程指導教授として「D」◎と判定)

所属学会

- 1981年 4月 日本記号学会 (会員、1993年～理事)
 1987年 4月 日本エドワード・サピア協会 (会員、1995年～理事)
 1992年 4月 日本英語学会 (会員、～2014)
 2001年 9月 日本認知言語学会 (会員)、～2014)

研究業績

I. 著書・訳書

1. パースから読むメタファーと記憶 単訳 2012年10月 勁草書房 I. Mladenov, *Conceptualizing Metaphors* (2006) の翻訳 全292+ xv
2. ものの忘れと記憶の記号論 単著 2012年7月 岩波書店 全201
3. パースの生涯 単訳 2004年12月 新書館 J. Brent, *Charles Sanders Peirce: A Life* (1998) の翻訳 全686
4. 現代言語学の潮流 共編著 (山梨との共編) 2003年3月 勁草書房 全258
5. パースの思想——記号論と認知言語学 単著 2001年2月 岩波書店 全242+xx
6. ことばと生命 単著 1995年10月 勁草書房 全175
7. 心のかたち・文化のかたち 単著 1990年10月 勁草書房 全233
8. 記号の呪縛——テキストの解釈と分裂病 単著 1986年5月 勁草書房 全233+vii
9. 言語と人間科学 単訳 1985年7月 南雲堂 E. H. Lenneberg(ed.) *New Directions in the Study of Language* (1964) の翻訳 全225
10. 言語学と英語韻律論 共訳 1981年6月 研究社 エプスタイン・ホークス著荒木一雄 監訳 (中野・中郷との共訳)
11. 言語の相対性について 単訳 1980年10月 大修館書店 J. M. Penn, *Linguistic Relativity versus Innate Ideas* (1972) の翻訳と訳者解説 全211
12. [完訳]言語・思考・実在 単訳 1978年12月 南雲堂 B. L. Whorf, *Language, Thought, and Reality* ed. by J. B. Carroll の翻訳 全348

II. 論文

1. A new horizon of intercultural stances 単著 2012年12月 *English Literature Review* (56号) 52-68
2. 物質から生物までの連続性 単著 2011年3月 英語英米文学論輯 (10巻) 53-66

3. How we lose memory in aging: a view according to the icon/index/symbol trichotomy of signs 単著 2009年9月 *Proceedings of the 9th Congress of the IASS/AIS-Helsinki-Imatra*. (xxxiv 卷1号) 73-79
4. A semiotic analysis of memory loss in aging 単著 2009年3月 京都女子大学大学院 紀要『英語英文学論輯』8:1-11. (8巻) 1-11
5. 言語とパース記号論 単著 2006年10月『大航海』60:90-99.新書館 (60巻) 90-99
6. ものわすれはどのようにしておこるか——その認知的特質 単著 2005年4月 日本記号学会編『流体生命論』慶応義塾大学出版会
7. 記号としての言語と認識の起源 単著 2004年9月『大航海』新書館 (52巻) 83-89
8. パースと言語——アブダクションとシネキズム 単著 2004年6月 石黒昭博、山内信幸編『言語研究の接点——理論と記述』英宝社
9. 言語解体の仕組み 単著 2003年3月 *Magazine of Atypical Antipsychotic Revolutionary Therapeutic Aspects*, 1/2:15-17. (2巻1号) 15-17
10. 記号論 単著 2003年3月『現代言語学の潮流』勁草書房
11. サビアとパースー記号的言語観 単著 2003年3月 日本エドワード・サビア協会研究年報 17:11-23. (17巻) 11-23
12. 項目執筆(認知言語学、シネキズム、言語相対性、かたち)単著 2002年5月 坂本百大ほか編『記号学大事典』柏書房
13. グローバル化と英語 単著 2000年10月 光華女子大学研究紀要 38:1-13. (38巻)
14. 日本語とコミュニケーション 単著 2000年3月『日本語を考える』光華女子大学文学部教養・教職等研究室編。ナカニシヤ出版
15. 記号論の分野担当の編集および項目執筆 単著 1999年1月 荒木一雄編『英語学用語辞典』三省堂
16. The unmarked unbounded ways of speaking and high context Japanese: is Japanese a mysterious language? 単著 1998年 *Semiotic Study/ Revue Européenne d'Études Sémiotiques* 10-3 (Wien: Institute of Socio-Semiotic Studies.)
17. 『不思議の国のアリス』のことば 単著 1998年11月『英語世界を視る——英米の文学と文化』光華女子大学英米文学会編 (大阪教育図書)
18. A typological view of interpretation in synechism 単著 1997年 *The Locus of Meaning: Papers in Honor of Yoshihiko Ikegami*, ed. by K. Yamanaka and T. Ohori. Tokyo:Kurosio Publishers.
19. ambiguity, analog, discourse particle, icon, semiotics, structural ambiguity, taboo-word, vaguenessの8項目 単著 1996年11月 コンサイス英文法辞典(安井稔編) 三

省堂

20. Japanese Haiku vs. English Haiku vs. concrete poetry 単著 1996年11月 *Poetica* 46 ed. by Y. Ikegami and S. Kawakami. (秀文インターナショナル) (46巻)
21. サビアとウォーフの論述再考 単著 1996年3月 英米文学 (光華女子大学英米文学会) No.14.
22. 英語俳句の特質 単著 1994年3月 英米文学 (光華女子大学英米文学会) No.11.
23. 生命のかたちとしての言葉 単著 1993年3月 身体と場所の記号論 (日本記号学会編) 東海大学出版会
24. semioticsと abductionの項目 単著 1992年7月 現代英文法辞典 (荒木一雄・安井稔編) 三省堂
25. 知覚・感情・言葉をつなぐもの——意味解釈におけるシネキズム 単著 1992年3月 ESSJニュース・レター (日本エドワード・サビア協会) No.6. (6巻)
26. Creative interpretation of the text and the Japanese mentality 単著 1991年 *Empire of Signs* ed. by Y. Ikegami. (John Benjamins, Amsterdam.)
27. カミングズの詩の言葉——カミングズとピカソ 単著 1991年12月 言葉の構造と歴史——荒木一雄博士古稀記念論文集 (有馬道子・飯田秀俊・近藤健一・中野弘三・柘矢好弘・米倉綽編)
28. 詩の言葉——色と形 単著 1991年4月 かたちとイメージの記号論 (日本記号学会編) 東海大学出版会
29. Japanese culture versus schizophrenic interpretation 単著 1989年 *Text* 9-3. (Mouton de Gruyter, Berlin.) (9巻3号)
30. Typology of Interpretation: typology of culture 単著 1989年12月 英語英文学 (親和女子大学英語英文学会) No.9. (9巻)
31. 解釈の類型・心の類型 単著 1988年9月 テクストの記号論 (日本記号学会編) 東海大学出版会
32. 記号論 単著 1988年4月 言語学の潮流 (林栄一、小泉保 編) 勁草書房
33. 言語と文化の一つの類型——コードから見た場合 単著 1986年12月 英語英文学 (親和女子大学英語英文学会) No.6. (6巻)
34. サビア 単著 1986年7月 日本大百科全書 (小学館)
35. Schizophrenia as semiotic disintegration 単著 1985年 *Kodikas/Code* 8-3/4 (Tübingen: Gunter Narr Verlag) (8-3/4巻)
36. 分裂病的語法とベケット 単著 1984年1月 英語青年1月号 (研究社)
37. 意味解釈からみた分裂病の言語 単著 1983年12月 英語英文学 (親和女子大学英

語英文学会) No.3

38. テクストの意味解釈の方法 単著 1983年2月 研究論叢No.16. (親和女子大学) (16巻)
39. パフォーマンスとしての仮説的推論 単著 1982年4月 記号学研究No.2. (日本記号学会) (2巻)
40. 非明示的カテゴリーと両義性 単著 1981年11月 言語研究 No.80. (日本言語学会) (80巻)
41. 普遍論と相対論 単著 1979年11月 月刊言語11月号 (大修館書店) (8巻11号)
42. サピア・ウォーフの仮説 単著 1979年2月 月刊言語2月号 (大修館書店) (8巻2号)
43. サピア・ウォーフの仮説とcodabilityについて 単著 1979年2月 研究論叢 (親和女子大学) No.12. (12巻)
44. A language and a world view 単著 1976年10月 研究論叢 (親和女子大学) Nos.9-10. (9-10巻)
45. 英語らしさの一つの側面 単著 1975年12月 *Queries* (大阪市立大学大学院英文学研究会) (13巻)
46. 英語の文法的主語・述語 単著 1975年6月 研究論叢 (親和女子大学) No.8.
47. 翻訳における意味の問題 単著 1971年12月 *Queries* (大阪市立大学大学院英文学研究会) No.11. (11巻)
48. Katz-Fodorの意味論とその問題 単著 1968年3月 紀要 (武庫川女子大学) No.15. (15巻)
49. 論理と文法 単著 1967年3月 紀要 (武庫川女子大学) No.14. (14巻)
50. 意味論考察 単著 1966年10月 *Queries* (大阪市立大学大学院英文学研究会) No.7. (7巻)
51. A study of some suffixes as morphemes 単著 1966年3月 紀要 (武庫川女子大学) No.13. (13巻)

Ⅲ. 研究発表等

1. 言葉と記憶——知情意のはたらき 単独 2013年11月 京都女子大学公開講座
2. 象徴性の働き——「もの忘れ」「スキゾ」から見た場合 単独 2013年3月 「言語と人間」研究会 (HLC) 第38回春期セミナー (日本女子大学)
3. サピアの「パーソナリティ」と「本物の文化」単独 2011年10月 第26回日本エドワード・サピア協会研究発表会 (北海道大学)

4. 伝統的な日本文化のかたち——現代英米文化と比較した場合 単独 2010年5月 京都女子大学公開講座
5. 認知言語学と記号論から見た「もの忘れ」単独 2008年11月 京都女子大学英文学会
6. A semiotic analysis of traditional Japanese culture 単独 2008年9月 The 14th early fall school in semiotics (by Southeast European Center for Semiotic Studies, Sozopol, Bulgaria.)
7. The traditional Japanese culture 共同 2008年9月 The 14th early fall school in semiotics
8. A semiotic view of memory loss in aging 単独 2008年9月 The 14th early fall school in semiotics
9. チャンク活用の再認識 単独 2007年12月 日本英文学会関西支部第2回大会(大阪大学)
10. How we lose memory in aging 単独 2007年6月 第9回国際記号学会(ヘルシンキ大学、フィンランド)
11. サピアとパース 単独 2002年10月 日本エドワード・サピア協会(金沢大学)
12. 考えるということ 単独 2001年11月 京都女子大学公開講座
13. 記号論と言語学——かくれた潮流 単独 1999年 同志社大学言語学会
14. 日本語とコミュニケーション 単独 1998年 光華女子大学公開講座
15. 『不思議の国のアリス』のことば 単独 1996年11月 光華女子大学公開講座
16. 言語相対性の史的概観と今日的意味 単独 1995年11月 第13回日本英語学会(東京学芸大学)
17. よりよいコミュニケーションのために 単独 1991年5月 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
18. プラグマティックスとポエティックス 単独 1989年4月 名古屋大学英文学会
19. 症状論について 単独 1988年8月 第3回精神医療夏期セミナー(宮崎県一ツ瀬病院)
20. 言葉と心——よりよいコミュニケーションのために 単独 1986年 親和女子大学公開講座
21. テクストのコードとコンテクストのコード 単独 1986年10月 第1回エドワード・サピア協会研究発表会(大東文化会館)
22. 言語から見た精神分裂病 単独 1985年5月 第5回日本記号学会(奈良女子大学)
23. アブダクションからみた分裂病の言語 単独 1983年10月 第87回日本言語学会

(神戸大学)

24. 意味解釈の方法と創造性の類型 単独 1982年10月 第85回日本語学会 (大阪樟
蔭女子大学)